

【別表1】

「乳幼児・児童・生徒のキャリアプランニング・マトリックス」

檜山教育局管内特別支援連携協議会

人間関係形成能力	小学校(乳幼児期を含む)	中学校	高等学校	キャリアプランの分野	
人間関係形成能力	人とかかわり、自己理解・他者理解系列	人とかかわり ○ 自分の良さへの気づき ・自分の好きなもの、好きなことをもつ。・自分らしさを発揮し、のびのびと活動する。・教師や友達とかかわり、一緒に活動する中で自分の良いところや得意なことを表現する。 ○ 友達の良さに気づき ・友達と仲良く遊ぶ。・友達を認め、友達の良さに気づく。	自己理解・他者理解 ○ 達成感に基づく肯定的な自己理解、相手の気持ちや考え、立場の理解 ・「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得る。 ・自分と相手の違いに気づき、異性や異年齢の人たちと共に活動する。	職業との関係における自己理解、他者の考えや個性の尊重 ・産業現場等における実習等、実際的な体験を通して、自己の能力や適性を知る。・他者の考えや個性を尊重し、自分との差異を認めながらも受容する。・自分の言動が相手に及ぼす影響について知り、相手の気持ちを考えて話す。	働 <
	集団参加、協力・共同系列	集団参加 ○ 大人や友達とのやりとりと集団活動への参加 ・集団活動に進んで参加し、教師や友達との良い関係を築きながら活動する。	協力・共同 ○ 集団における役割の理解と協力 ・集団活動における目的を共有し、役割を理解して、協力して成し遂げる。	○ 集団(チーム)の一員としての役割遂行 ・リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームとして協力・共同して活動に取り組む。	
	コミュニケーション系列	○ 日常生活に必要な意思の表現 ・要求、拒否、許可、応答、説明、思いなど、自分の意思や感情を表現する。・見たこと、聞いたこと、感じたことを簡単な言葉などで表現する。・相手の話を聞いて理解する。	コミュニケーション ○ 社会生活に必要な意思の表現 ・集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現する。 ・報告・連絡・相談をする。	○ 必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力 ・必要な情報を伝えたり、自分の悩みを話せたりする関係を築き、自分の思いや意見を適切に伝える。 ・職場の人や周りの人と世間話をする。・適切な男女交際の仕方を身につける。	→ 学び、楽しむ → かかわる → 暮らす
	挨拶・清潔・身だしなみ、場に応じた言動系列	清潔・挨拶・身だしなみ ○ 挨拶、身だしなみの習慣化 ・挨拶を自分から行う。 ・清潔や身だしなみに気をつける。	場に応じた行動 ○ 状況に応じた言葉遣いや振る舞い ・相手の立場を考えて話したり行動したりする。	○ TP0に応じた言動 ・場や状況に応じた適切な言葉遣い、服装、身だしなみを心がける。 ・携帯電話・スマホなどのマナーや訪問時のマナー等を身につける。 ・ロッカーや机などの身の回りの整理・整頓を心がける。	
情報活用能力	様々な情報への関心、情報収集と活用系列	様々な情報への関心 ○ 仕事、働く人など身の周りの様々な環境への関心 ・周囲の様々な環境に興味や関心をもつ。 ・家庭や社会の様子、身近な仕事や職業に興味をもつ。	情報収集と活用 ○ 進路をはじめ様々な情報の収集と活用 ・社会の出来事に興味をもち、働く人や仕事について調べる。・情報を得るためには、様々な方法があることを体験をとおして理解する。	○ 職業生活・社会生活に必要な事柄の情報収集と活用 ・政治、経済、文化などの情報に興味をもち、職業生活に必要な事柄を調べる。・必要な情報を得るための様々な方法を活用する。	暮らす
	社会資源の活用とマナー、法や制度の活用系列	社会資源の活用とマナー ○ 地域社会資源の活用と身近なきまり ・公共施設や交通機関、いろいろな商店などを実際に利用する。 ・身近なきまりやマナーに気づきそれらを守って行動する。	法や制度の活用 ○ 社会の仕組み、ルールの理解 ・地域社会で活動するためのしくみやルールを体験をとおして理解し、生活に活かす。	法や制度の活用 ○ 社会の様々な制度やサービスに関する理解と実際生活での利用 ・社会のルールや制度、職業に必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識、社会生活上の規範、法の遵守、権利侵害等への対処方法などを理解する。	
	金銭の扱い、金銭の使い方と管理、消費生活の理解系列	金銭の扱い ○ 体験をとおした金銭の大切さの理解 ・お金を使って買い物をすることに慣れる。 ・お金の大切さに気づき、無駄遣いしないような使い方をする。	金銭の使い方と管理 ○ 消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費 ・生活するために必要なものを計画的に消費することや預貯金などをとおして保管の大切さを知る。 ・金銭や物の管理・貸し借りのルールを身につける。	消費生活の理解 ○ 労働と報酬の関係の理解と計画的な消費 ・計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や、労働の対価としての給与の意味を知る。	働 <
	はたらくよるこび、役割の理解と働くことの意義系列	はたらくよるこび ○ 自分が果たす役割の理解と実行 ・係活動や当番活動、お手伝いなどの役割を果たし、認められることで役に立つよるこびを感じる。	役割の理解と働くことの意義 ○ 様々な職業があることや働くことに関する体験的理解 ・職場見学や実習をとおして様々な職業があることを知り、働くことに関心をもつ。 ○ 学校生活、家庭生活において自分が果たすべき役割の理解と実行 ・学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行する。	○ 職業及び働くことの意義と社会生活において果たすべき役割の実行 ・様々な職業が社会や生活に果たしている役割及びその意義を理解する。 ・社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、実行する。	
将来設計能力	習慣形成系列	習慣形成 ○ 家庭、学校生活に必要な習慣づくり ・家庭や学校生活に必要な基礎的な習慣を形成する。	○ 職業生活に必要な習慣形成 ・将来の職業生活に向けた基本的な習慣の基礎を形成する。	○ 職業生活に必要な習慣形成 ・職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を形成する(規則正しい生活、時間を守るなど)。	暮らす
	夢や希望系列	夢や希望 ○ 職業的な役割モデルへの関心 ・身近な職業や働く人に関心をもつ。	○ 将来の夢や職業への憧れ ・将来への夢や憧れの職業をもつ。	○ 働く生活を中心とした新しい生活への期待 ・職業生活を思い描き、新しい生活へ期待をもつ。	働 <
	やりがい、生きがい・やりがい系列	夢や希望 ○ 意欲的な活動への取組 ・思う存分活動に取り組み、物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。	生きがい・やりがい ○ 様々な学習活動への自発的な取組 ・好きな活動への意欲を様々な学習活動へつなげる。	○ 職業の意義の実感と将来設計に基づいた余暇の活用 ・働くことにやりがいを感じることで及ぶ将来設計に基づいた余暇活動の活用を考える。	学び、楽しむ
	進路計画系列		進路計画 ○ 目標を実現するための主体的な進路計画 ・将来設計に基づき、主体的に進路計画を立てる。	○ 将来設計に結びつく進路計画 ・将来設計に結びつく進路計画を行い、卒業後の生活に期待をもつ。	働 <
意思決定能力	目標設定系列	目標設定 ○ 目標への意識、意欲 ・自分でやろうと決めたことを最後までやり遂げる。	○ 将来設計や進路希望の実現を目指した目標の設定とその解決への取組 ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立てて、その解決に向けて取り組む。		
意思決定能力	自己選択、自己選択(決定・責任)系列	自己選択 ○ 遊び、活動の選択 ・自分の好きな遊びや活動をもち、進んで取り組む。	自己選択(決定・責任) ○ 自己の個性や興味・関心に基づいたよりよい選択 ・自己の個性や興味、関心等に基づいてよりよい選択をしようとする。 ○ 進路先に関する主体的な選択 ・見学や体験をもとに、進路先を主体的に選択する。	○ 産業現場等における実習などの経験に基づく進路選択 ・産業現場等における実習などの経験をもとに、自分の意思と責任で主体的に進路を選択する。	働 <
	振り返り、肯定的な自己評価系列	振り返り ○ 活動の振り返り ・活動後に自らの活動を振り返る。	肯定的な自己評価 ○ 活動場面での振り返りとそれを次に活かそうとする努力 ・活動場面での振り返りをもとに次の活動に活かそうとする。	○ 産業現場等における実習などにおいて行った活動の自己評価 ・産業現場等における実習をとおして、より客観的、肯定的に自己を評価するとともに、助言を聞いて作業やサービスの精度・品質を高める。	
	自己調整系列		自己調整 ○ 課題解決のための選択肢の活用 ・戸惑いや葛藤などに対して、様々な選択肢の中からよりよい選択をする。		